

◆第11回奈良県弓道団体選手権大会

(兼 全日本勤労者弓道選手権大会 県予選会)
2010年2月21日
於：橿原公苑弓道場

優勝 橿原高校男子

丸 和浩、高間 光司、小西 圭佑、
津田 博由、山本雅也



2位 皆覇

蔵地 隆文、河原 直紀、林 秀子、
辻本 元威、岡本 圭子

3位 外国語学部『西独米伯中』

矢野 有吾、山口 亮二、吉井 大地、
松川 卓秀、仲尾 瞳

◆百射会

2010年2月28日

場所：橿原公苑弓道場、奈良市鴻池弓道場

<男子の部>

優勝	蔵地 隆文 (奈良)	84中
2位	新子 修平 (五条)	83中
3位	矢野 有吾 (奈良)	81中
4位	綿松 昭寛 (橿原)	79中
5位	山口 亮二 (奈良)	78中

<女子の部>

優勝	奥戸 由美 (郡山)	64中
2位	松澤 和実 (奈良)	57中
	西田 ゆり (奈良)	57中
4位	東中 千佳 (橿原)	53中
	寺口 瑠 (香芝)	53中



No. 12

先日の理事会で、今年度は赤字決算、また来年度の予算も赤字が見込まれました。会員の減少と審査受審者の減少が大きな原因です。今後の課題として、弓道の普及、会員の増加が急務となりました。

今年は、平城遷都1300年祭に協賛して、全日本遠的選手権が奈良県連が主管して平城宮跡で行われます。全国に、世界に弓道の良さを理解していただくまたとない機会です。

弓道の普及を視野に、皆様のご協力をお願いいたします。

奈良県弓道連盟 会長 吉本清信

◆奈良県中学校弓道選手権大会

日時 平成22年3月7日(日)

主催 奈良県弓道連盟

場所 橿原公苑弓道場

参加者：、男子91名、女子86名、計177名

▽団体戦 学校対抗トーナメント(各人4射、16射)

- ① 香芝中学校
- ② 八木中学校
- ③ 天理南中学校

▽個人戦(各人8射)

(男子)

- ① 和田 弘喜(大成中) 6中
- ② 竹岡 滉貴(香芝中) 6中
- ③ 村岡 尚弥(香芝中) 6中
(射詰め競射により順位決定)

(女子)

- ① 平松 麻奈(橿原中) 5中
- ② 石田 絵里(橿原中) 5中
(射詰め競射により順位決定)
- ③ 前田 知明(香芝中) 4中

■中埜広樹副会長(教士七段)のご逝去

本連盟副会長で、蒼穹会会長の中埜広樹氏が、去る平成22年2月20日朝、家族皆さんに見守られながら65歳の生涯を閉じられました。



高等学校卒業年の8月から、小笠原流同門会に入会。歩射、礼法、騎射のそれぞれを極められ、歩射および騎射では重籐弓格を、礼法では男礼八等の資格を

お持ちでした。その関係からも、大和神社、春日大社、橿原神宮での奉納など奈良県連での古式行事をリードしていました。奈弓連便りの特別寄稿の「中埜大学藤原孝澄」とは中埜氏の騎射におけるお名前であり、くしくも、ご命日が遺稿の発行日になってしまいました。



また、ご自身は修練の傍ら、昭和60年には当時の香芝町鎌田の故大倉克彦氏のご支援をいただきながら蒼穹会を創設されました。仕事を終えて弓道場へ来るものや、少しでもうまくなることを求める中学生に丁寧にご指導いただいております。本年は蒼穹会創設25年目にあたる年であり、記念事業を相談しはじめたところであり、中埜蒼穹会会長のご逝去は残念で仕方がありません。今後は、中埜蒼穹会会長の思いを受け継ぐ気持ちで弓を握っていきたくと考えます。

中埜氏のご冥福をお祈りするとともに、後に残ります我々に対し、さらなるご支援をお願いし、報告と致します。(新司正人、土谷尚敬)

特別寄稿

第5回

弓馬術礼法小笠原教場の三十世宗家、小笠原清信氏が昭和42年2月にラジオ・テレビで話されたときの原稿の一部を御分けします。(文章、文字は原文のまま) 中埜大学藤原孝澄

総まとめとして礼法の根本である基本体、基本動作についてお話しします。

礼法は心が問題であると同時に行動の教養でもあるのです。行動には基本姿勢が大切です。その姿勢から基本動作が考えられて来ます。

基本動作は立つ・座る・歩く・回転する・物を持つ事とお辞儀です。多くの姿勢を見ますと四つのタイプが見られます。出尻鳩胸の姿勢・胸をへこめお腹を出した姿勢・腹を前につき出し上体後ろにそらした姿勢・前こごみの姿勢です。

これが別の形でとらえれば、そる身・かかる身・うきたつ身・しずむ身・真直ぐな身で、これは基本姿勢についての問題になりますので今日は省きます。前に申した四つのタイプは皆悪い姿勢で、これらは重心点が踵にしている場合が多い。150kg以上の立体を一点で支えるので、体の屈節しやすい所でバランスをとるひずみをつけているのです。

人間の足掌には土踏まずと云って立位姿勢のバランスをとる場所があります。ここに重心点をおとし、最も自然な骨格(ことに背骨)である事が望ましいので、足爪先を60度あるいは45度に開かせ踵をつけ、上体を緊張させて胸をはる姿勢は感心出来ません。私共の最も姿勢のくずれ易い箇所は首と、今一つ胸骨と腰骨の間の箇所、この後者は時に背後にくぼみが出来、これが構えを崩すのです。袴の腰板はこれを防ぐ為ですし、又女性の帯もこのヶ所をきちんときめるのです。今女性は帯を胸に締めている人を見受けられますが高すぎます。(続く)

◆4、5月度競技会予定 (from 競技部)

○4/18(日): 県総合選手権大会
(全日遠的、国体、ねりんピック選考会)
会場: 橿原公苑弓道場

○5/30(日): 称号者大会 (全日選考会)
会場: 橿原公苑弓道場・奈良市鴻池弓道場

※平成22年度から称号者大会の参加資格(選手選考対象者)を五段以上の受有者まで広げました。五段の方々の多くの参加をお待ちしております。